



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報・宣伝部  
2023年6月11日 No.629

## 2023年度夏季手当・追加支給シリーズ⑥



## 東日本ユニオンへ寄せられたJR労働者の声 Part 5

- ★子育て世代の社員は、学費や住宅ローンの支払いなど全然足りない。黒字化を実現したのでコロナ前の水準に戻すことが必要だ。(信越)
- ★会社は「社員と家族の幸福」を考えていない。回答書の文面にも載らなくなりました。追加支給は当然です。この回答では、社員の苦勞に報いていません。(関東)
- ★夏季手当の回答を見て、余りに少ないのでガッカリした。組合に加入はしていませんが労働組合の交渉には期待をしている。頑張っで欲しい。(東北)
- ★鉄道 150 周年のイベントなど、企画業務で頑張っているのに、社員には何の還元もなかった。現場が苦勞して、やっと黒字化を実現させたのに、この回答ではあまりにも少ない。(関東)
- ★期待していた分、正直今回の回答はがっかりです。過去の支給水準と比較してしまう。入社時からJRは基本給が低く、ボーナスしか期待できないので、東日本ユニオンの追加支給要求は理解できます。頑張っで欲しい！ボーナス交渉は関心をもって見えています。(信越)
- ★社員はプラス5万円以上の奮闘を3年間してきました。こんな安見積もりは納得ができません。(関東)
- ★子供がまだ小さいので、妻がパートで働いて頑張ってもらっている。子供も交互に見ていて休む暇もない。これから電気代も上がり、かなり家計が苦しくなりそうで心配です。(信越)
- ★管理手当等や扶養手当、通勤手当など改善はされているが、それは一部の人で、やはり全社員に関係する賃金やボーナスをなんとかしなければダメだということに気が付かされました。(信越)
- ★東日本ユニオンの情報を職場で見えています。追加支給を求めることは賛同できます。陰ながらですが東日本ユニオンを応援しています。(信越)
- ★労働組合に加入してる人は少ないが、労働組合は必要だと思う。会社は「社員の声を聞いている」と言うが一部の人だけです。トヨタ自動車などは「人に投資」をしているが、JR東日本はしていない。だから離職も増え続けている。現場のことを分かっていない。ボーナスもこんな低額水準だと離職者が増え、新卒も入社してくれない。(関東)

経営側はJR労働者の声を受け止め「追加支給」をするべきだ！